

発行所

(一社) 愛知県山岳・スポーツ
クライミング連盟

発行人 伊藤 智彦

編集人 河野 義人

名古屋市中村区名駅4丁目
24番地5号 第2森ビル401

◆5月19日 令和6年度定時総会(社員総会)

<https://aichi-sangaku.org>



2023年度

令和6年2月24日(土)～25日(日)

雪山研修講習会

雪山研修・講習会を開催

2月24日(土)～25日(日)、大日ヶ岳で雪山研修・講習会が開催されました。参加者は、9団体20名、講師6名で、登攀コースと縦走コースの二つに分かれて行われました。今年には雪も少なく、また24日は春のような天気であったため、講習内容にもその影響がありました。

ダイナランドのゴンドラで上がり、登攀コースは上部に移動し、縦走コースは机上講習をしたのち上部に移動しました。15時に終了し、テントの設営とビバークサイトの設営を各自行いました。雪洞を掘るのはやはり難しく、そんな中で1名がしっかりといたイグルーを作っていました。

25日朝にはいくらかの積雪が見られ、天候の崩れもあつたため、講習は12時までと下山し解散しました。24日は春山の講習、一転して25日は冬山の様相で充実した講習ができたと思います。(木田)

登攀コースの内容

24日はゴンドラ頂上駅で、水になった雪をブルーシートで梱包し重りとして、テント設営場所まで講習者全員で搬送しました。引き上げシステムの方法を学習しながら、搬送したので昼までしっかり時間がかかりました。午後は色々なアンカーを構築し、重りを落として制動確保をするつもりでしたが、雪が緩んでなかなか滑り落ちずスピードが出ないので、うまくいきませんでした。

25日は、朝から寒く新雪が積もっていたため、これもブルーシートは滑らず、人が走って荷重を掛けなければなりませんでした。作製したプラトリーの強度確認やスタンディングアックスビレイ、その後の自己脱出など色々練習しました。(高木)

縦走コースの内容

目標は、今後の雪山山行に繋がる考え方、実践力を身につけることです。具体的には、



計画、準備、危険予知の重要性について、雪質や地形に合わせた装備の選択、雪上歩行の仕方、積雪期に特徴的なハザードを五感で知り、危険予知や体験をすること、これらを通して今後の安全雪山登山に繋げられるようにすることです。

1日目は、チーム登山のための入山前のプランニング、ハザードを知りリスク管理をすることから、転倒滑落しなため雪上歩行までをメインに行いました。

2日目は、事故が起こった場合の初動について確認しました。この日は降雪もあり寒さも厳しかったため、気象条件もリアル感があり充実した講習会だったと思います。

(浦川)

参加者の感想

JAC東海 大西伸幸

昨年の凍傷による後遺症がまだ残っており、今シーズン、雪山へは消極的となっていました。今回が初めての参加ですが、雪上での登攀コースに参加できたことで、凍傷以前のモチベーションを保つことができ大変ありがたく思っています。

雪上でのアンカー構築また確保は、不慣れで安易に覚えているところもありました。講師の方からちゃんとした理屈での手順を学び経験をさせていただく事で、フィールドで実践できるよう、また会の中で手順の統一、情報共有にも役立てたいと思います。2日間どうもありがとうございました。

豊橋山岳会 宮道千秋

24日の1日のみ、縦走コースに参加しました。地図読み講習では基本的なコンパスの使い方、地図の読み方、リスクの把握、風の向き、雪崩の巣窟、雪庇ができる場所など覚えることはたくさんありましたが、山の地形をイメージする事ができました。

フィールドの実践では、この先の風景がどうなっているかを想像しながらポイントを目指し、アイゼンの歩き方、急斜面でのピッケルの使い方、また、ツェルトの張り方、雪洞の作り方を教わり、イグルーはみんなで作りました。春山のようなポカポカ陽気で遠くに御嶽山、北アルプスを眺めながら雪山に必要な知識、技術を身につけることができました。講師の皆さんは、気さくで質問もしやすく楽しい雪山講習でした。

やまびこ山想会 毛利浩美

昨年に引き続き今回も縦走コースに参加しました。今回は2日間内容も濃く余裕を

持った講習となり、とても良かったと思います。ただ、去年習ったことも忘れていて反復練習がいかに大切であるかを再認識させられました。具体的な成果としては、1日目の読図や山行計画の立て方など雪山での基本が改めて理解できたこと、2日目の実践に基づくアイゼンやピッケルの使い方や転び方、そしてピッケルの活用法、またその回復の大切さです。今後はこの講習で学んだ事を忘れないように実践を積み重ねて自分のものにしていきたいと思います。最後にご指導頂きました。講師の皆さん本当にありがとうございました。

SCジャパンカップ

愛知県選手が活躍

スピードクライミングジャパンカップ2024のリード競技、スピード競技が2月23日から25日にかけて九州クライングベースSAS（佐賀県多良木市）で開催されました。

この中でスピードユース日本選手権大会において、ユースA男子の部で戸田明稀選手が

3位、ユースA女子の部で表島心花選手が2位の成績を獲得しました。表島選手はスピードジャパンカップ2024でも8位に入賞しました。

また、リードジャパンカップの女子の部では高尾知那選手（中京大学）が5位に入賞しています。



高尾知那選手

目標としていた決勝に初めて残ることができてとても嬉しいです。予選、準決勝、決勝

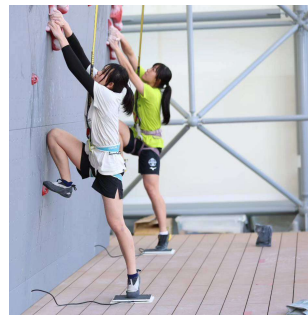
と、自分らしく、登ることができました。決勝競技後は「もつと上まで登りたかった」と悔しかったので、これから



戸田明稀選手

入賞できたのは嬉しいですが、自分の思っていたタイムとはかけ離れていて、世界を

見ると自分よりもはるか上にいる人ばかりで自分がどうするべきなのか考えさせられた試合でした。



麦島心花選手

2年連続準優勝でした。世界ユースの派遣基準タイムを上回る事ができて嬉しいです。たくさん練習して世界ユースがんばります！



地道にトレーニングしていきます。

愛知の130山

登山道整備活動

自然保護委員会

自然保護委員会ではSDGsに関する愛知県独自の取り組みを検討し、「愛知県の山や自然歩道で必要とされていることは何か？ 取り組みが必要とされている場所や山はどこなのか？」という問いに答えるため、愛知県内の身近な山を歩いて確かめてみようと考えました。「新・こんな楽しい愛知の130山」(2003年風媒社発行)で紹介されている登山対象の山を愛知の宝物と捉え、冬場のトレーニングを兼ね、登山道を歩く際に体に触れる程度の枝に限って切り取る活動を自然保護委員会を中心に実施しました。

岩倉山岳会員5名が令和5年11月に丸山、碁盤石山、井山、天狗棚、1200高地、月ヶ平の登山道を歩いて刈り払いや赤テープなどの標識の状況を観察・整備しました。12月には雨生山、金山、吉祥山、御堂山、砥神山など16座

2月には雨天中止の日もありましたが、3月にかけて寧比曾岳、遠望峰山、三ヶ根山、舟着山、常寒山などを調査し、4月上旬までにさらに12座の登山道整備を実施しました。自然保護委員会による登山道整備活動の詳細は当連盟のHPに掲載されています。左記のQRコードからPDFファイルをダウンロードしてご覧ください。



愛知の130山
登山道整備状況

令和5年度

年末年始の雪山山行報告

冬季塩見岳

チーム猫屋敷

日程 2023年12月28日〜30日

メンバー 鹿島、田村、尾関

新入会の尾関くんが12月に冬山トレーニングを頑張ってきた集大成として冬合宿は塩見岳へ行くこととなった。田村さんは一昨年ラッセル敗退していると言き気を引き締めて臨むが、蓋を開けてみれば寡雪の影響を御多分に洩れず受けていて、厳冬期はどこへやらという様相だった。
12/28 天候：晴7時15分冬季ゲート、9時20分鳥倉登山口、12時15分三伏峠。

雪の無い林道を2時間のアプローチで鳥倉登山口へ。登山道も4/10の標識まで雪は無く、その後もよく踏まれたトレースのお陰でトラバース道も問題無く通過し気がつく。三伏峠小屋へ到着した。想定より早いためベースを伸ばすか相談していると今年から

チーム猫屋敷／やまびこ山想会

試験的に駐在している小屋番の方から声をかけられた。快くお茶に招き入れていただいた事もあり、三伏峠ベースを決めた。雪の少なさ、トレース、31日の悪天予報を加味して翌日アタック、30日に下山という方針で固まった。テント泊なのに小屋の自炊室で夕食を一緒にして某有名ガイドの方や小屋番の方と色々な山の話で盛り上がった(小屋番の方は当会創設メンバーと旧知の仲だった!)。

試験的に駐在している小屋番の方から声をかけられた。快くお茶に招き入れていただいた事もあり、三伏峠ベースを決めた。雪の少なさ、トレース、31日の悪天予報を加味して翌日アタック、30日に下山という方針で固まった。テント泊なのに小屋の自炊室で夕食を一緒にして某有名ガイドの方や小屋番の方と色々な山の話で盛り上がった(小屋番の方は当会創設メンバーと旧知の仲だった!)。

ながら写真を取り合って休憩。下りは一箇所不安定なトラバースがあったため鎖のボルトで支点をとりムンターでバックアップして降りてもらった。塩見小屋でハーネス類を片付けて気温計を見ると10℃まで上がっていた。後半は汗をかきながらTシャツで帰幕。正月休み始めで宿泊者は増え忙しい中なのにご厚意に甘えて小屋でぜんざいをご馳走になった。担いだ酒も空にして就寝。
12/30 天候：晴7時50分三伏峠発、9時25分鳥倉登山口、12:30冬季ゲート。
ゆっくり起床し余ったペミカンで贅沢な朝食をとって下山開始。入山時よりさらに少なくなつた雪に別れを告げて長い林道をゲートまで戻った。尾関くんが難なく塩見岳に登頂できたのはトレースの甲斐ありと言つて良いと思う。これからどんどん経験を積んでいって欲しい。惜しむらくは雪の少なさ、正月休みの南アルプスに雪を求めることは難



な冬山の頂上も珍しいよと言いつつ、

しくなってしまうのだろうか。

(鹿島 崇人)

反省だらけの冬合宿 蝶ヶ岳

やまびこ山想会

1月6日-8日

始めて、当会の冬合宿リーダーを任せられることになった。緊張しつつ、事前に岳連の冬山遭難対策会議に参加し、諸先輩方からアドバイスや情報をいただき準備した。

当日の天気予報は、寒気が入り荒天予報だったが、アタック日午前中は晴れ間があるかもとのことで、晴れ間チャンスに賭け、決行した。

1日目沢渡に8時30分到着。3連休初日ということもあり、タクシーが待機し、登山客も何人かいる。9時01分発のバスに乗り中の湯へ向かう。そこは冬季ゲートがあり、入山チェックを受け、情報をいくつかもらう。

まずは、釜トンネルを歩く。普段はバスであつという間だが、足音をトンネル内に響かせつつじわじわ登る。釜トンネル、上高地トンネルを抜け

ると灰色の世界が広がっていた。雪はさほどなくペース良く歩け、むしろ暑いくらいだった。11時30分上高地宮へ到着。そこから先もしっかりトレースがありアイゼン無しでも歩きやすい。予定より早く14時に徳澤に到着。すでに数張りのテントがあり、この時期にはにぎやかだ。しかも、以前無かった冬季トイレが併設されていた。雪がちらつく中、早々にテント設営し、鶏塩鍋で小宴会。明日に備え早々に就寝した。2日目6時に出発。ルートにはすでにトレースがありありがたく利用させてもらう。途中、14人の大パーティに抜かされ、ますます歩きやすくなった。コースタイム1・4倍で計画を立てていたので予定より早いペースで順調に歩を進める。午後から霧予報でホワイトアウトの危険もあったので、行けるところまで行って撤退のタイミングを間違えないようにと考え登った。ところが、一向に天気は崩れずむしろ青空まで見えた。『天気予報は当たった。もしかしたら行けるかも!』と期待した。ゆ



つくりではあるが、長堀尾根の「壁」を一步一步進む。途中で、体調不良者が出て、隊が

分かれてしまったり、細かいハプニングがいろいろあったが、何とか山頂を踏むことができた。

山頂は暴風雪で目を開けるのもやつの状態だった。記念写真だけ撮って、そそくさと下山する。天気予報通り風雪が強くなったが、幸い体調不良者も復活し、順調なペースで、計画より早く下山することができた。とにかく6人全員無事テントに

戻れた事にホッとしかレー鍋で大宴会をした。3日目バス時間を勘違いし、更に1日目のペースも早かったので、予定出発時間を遅くし出発。一晩で30センチほどの積雪があったが、トレースばかりで歩きやすい。しかし、余裕があると思いのんびり歩きすぎてしまい、上高地宮到着時には、『もしかするとバスの時間間に合わないかもしれない』と焦る。熟慮の結果、先発隊として2名先に行ってもらい、バスに乗り車を持ってきてもらおう事にした。ひやひやしたが、無事間に合い中の湯で合流し帰路について。

今回は、未だに自分でもわからないが、なぜか隊を分けてしまうというミスから始まり、的確な指示、判断ができず、また、積雪期ならではの情報伝達のしにくさなどにより、隊を迷走させてしまった、と反省しまくりの合宿であり、今まで一番学び多い合宿でもあった。何はともあれ、メンバーに恵まれ無事下山でき感謝である。この反省は次に活かしたい。(中西 恭子)

冬山装備のメンテナンス工房
HAREYAMA
 なにより「安全」のためです。命を守ってくれる相棒を大切に。
 冬山装備のメンテナンス
 アイゼン・ピッケル研ぎます
 株式会社ウォームリンク
 〒470-0135 愛知県日進市岩崎台 1-130
 Tel. 0561-72-2805
 hareyama.net

うなぎ錦三丁目 い ば しょう
いばしょう
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目 13 番 22 号
 TEL <052> 951-1166 番
 営業時間
 午前 11:00~午後 2:30
 午後 4:00~午後 8:00
 定休日
 日曜日・第二・第三月曜日

印象に残った私の登山 41

初めての冬季
北ア横尾避難小屋

宮森 千治

私は石川県金沢市で生まれ育った。小学生の時の冬の遊びはスキー、今では考えられないが当時は一晩に30センチ積る事があり厳冬期には家の周りには1メートルの積雪があった。家の屋根から滑り落ちた雪が絶好のスロープになり弟と夜までスキーを楽しんだ。そんな私が学生時代にはアウトドアサークルに入部し、地元の白山には良く登っていたが父親から冬山には絶対に行くなと言われていた。

初めての北アルプスは蓮華温泉から入山し遠見尾根を下った。南アルプスは金沢から遠い、電車を乗り継いで戸台から入山、南アルプス林道開通前だったので戸台川添いを歩き北沢峠経由、3日掛けて甲斐駒ヶ岳にも登った。加藤文太郎の本を読んで南アルプスを単独で歩きたくなり、11日分の食料とテントを担ぎ畑薙ダムから入山し北沢峠から戸台に下山した、8月末頃だったが毎日雨で台風予報の日はテントで一日過ごす日もあった。地元の会社に就職し30歳の時転勤で名古屋支店に赴任した。仕事が忙しく山から遠ざかっていたが、50歳で大阪支店へ単身赴任。仕事が上手く行かず悩んでいた時にライバル会社のK氏から六甲山に登ろうと誘われ登山に對する情熱が再燃し、毎週のように六甲山を歩いた。大阪の登山サークルに入会しI氏から冬山に行こうと誘われた時父親の言葉が脳裏にあつたが、50歳過ぎたから「もう良いかなあ」と思つて承諾した。冬のポーナスでウェア・アイゼン・ピッケル等を買った。アイゼン・ピッケル等を買った。アイゼン・ピッケル等を買った。

た辺りから降雪し尾根取付きでは吹雪いてきた。リーダーのI氏から横尾の冬季小屋まで撤退と言われ夕方方には冬季小屋にたどり着く。冬季小屋に入ると右側にこざっぱりした一室がある。S氏がこの部屋は？とI氏に聞くと「おろく」の安置場のような物もあり、それ以降部屋を見ることは無かった。小屋の前に水がどくどく流れ出しており水には困らなかった。31日も吹雪で動けずI氏から冬山の話や沢山聞いた事は今でも役立っている。食料と酒も残り少なくなった1月1日小雪のなか下山。それ以降は四季を通じて山を歩くようになった。山には登らなかつたが、冬山登山のきっかけとなった横尾の冬季小屋で過ごした2泊3日が思い出として残っている。

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会
第2回競技団体連絡会議を開催

2月8日(木)に「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会第2回競技団体連絡会議」がウェブ会議方式で開催

され、当連盟の岩瀬幹生副理事長が参加しました。大村会長(愛知県知事)、河村会長代行(名古屋市長)らの挨拶があり、主催者から

《スポーマネージャー、テクニカルオペレーションマネージャーの雇用条件について・組織委員会の体制強化について・Af/He/Is/Po/リシーについて・医療・コンディショニング分野における今後の協力依頼について》などの説明がありました。スポーツクライミング競技においては百瀬恭平氏(JM SCAスポーツクライミング部競技委員長)がスポーター・ディネーターに選任されており、

2024年6月頃には愛知県にアジア競技大会の役員を招聘して競技会場の視察が行われる予定です。

6月15、16日

確保技術研修講習会

6月15、16日に確保技術研修講習会を開催します。6月8日には事前勉強会としてロープワーク講習も実施します。

編集後記

雪山講習の感想も年末年始の山行報告も、とても内容の濃いものになっていきます。やはり体力と技術が求められるだけ山行の印象も強いものになるでしょう。

スポーツクライミングでは、アジア大会もあるため岳連の役割が重要になっていきます。若い人たちの大きな大会での活躍をうれしく思います。(KY)

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々
ご相談は行政書士の西山秀夫へ
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室
TEL:090-4857-9130
URL:http://www.nygs-office.com/